

科目番号：AE14G53 / 63

科 目 名：日本文化研究フィールド実習I/II

担当教員：鈴木伸隆

成績評価方法：①調査テーマ・課題設定能力 40%、②調査行能力 40%、③チームワーク力 20%

成績評価基準：

	A+ (90 点以上)	A (80～89 点)	B (70～79 点)	C (60～69 点)	D (60 点未満)
① 調査テーマ・課題設定能力 (40%)	調査地を丹念に調べ上げ、自分なりの明確な問題意識に基づいた実行可能で発展性があり、なおかつ独創性に満ちた調査テーマ・課題設定が出来ている。	調査地を丁寧に調べ上げ、自分なりの明確な問題意識に基づいた実行可能で独創的な調査テーマ・課題設定が出来ている。	調査地を調べ上げ、調査実習としては適切な調査テーマ・課題設定が出来ている。	調査地を調べ上げたものの、問題意識を明確にするまでには至らず、調査テーマ・課題設定が不十分である。	調査地の事前学習が出来ていないだけでなく、調査テーマ・課題設定の意味自体を十分に把握できていない。
② 調査遂行能力 (40%)	自分の設定したテーマ・課題に適した無理のない調査スケジュールを立て、丁寧かつ粘り強く聞き取りを行い、データ収集に挑戦的かつ積極的に取り組んでいる。	自分の設定したテーマ・課題に適した調査スケジュールを立て、丁寧に聞き取りを行い、データ収集にも意欲的に取り組んでいる。	自分の設定したテーマ・課題に適した調査スケジュールを立て、聞き取りとデータ収集に取り組んでいる。	自分のテーマ・課題設定が不明瞭であり、調査スケジュールを組まず、聞き取りとデータ収集ともに不十分である。	自分のテーマ・課題設定が不十分であるだけでなく、どのような聞き取りを行えばよいのか十分に理解できていない。
③ チームワーク力 (20%)	事前学習と実習期間中を通じて、仲間と協働もしくはサポートする姿勢が顕著で、主体的に調査に取り組んでいる。	事前学習と実習期間中を通じて、仲間と協働もしくはサポートする姿勢が明確で、意欲的に調査に取り組んでいる。	事前学習と実習期間中を通じて、仲間と協働しながら前向きに調査に取り組んでいる。	事前学習と実習期間中を通じて、仲間と協働する姿勢が十分とは言えないが、調査には誠実に取り組んでいる。	事前学習と実習期間中を通じて、仲間と協働する姿勢が希薄である。